

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
ワクワク海験（たいけん）クルーズ				堺区ふれあい事業実行委員会			
事業目的		事業効果		活動指標	R4	R5	R6
堺区内のこどもが家族とふれあいながら、堺の海や港の魅力に触れることで、郷土愛の醸成を図ることを目的として開催する。		○ 区民に歴史ある堺区の海や港の魅力に触れて、親しみを持ってもらう。 ○ 子育て世帯の地域での思い出作りを支援することで、郷土愛を醸成する。		来場者数(人)	82	400	150
					※例年のイベントは中止したが、クルージングのみのイベントを実施した。	※実施回数2回	※実施回数1回
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	歴史ある堺の海や港を活かし、子育て世帯がワクワク海験に参加することで、地域産業の活性化及び郷土愛を醸成できる。	◎	堺区自治連合協議会と堺区役所で構成された堺区ふれあい事業実行委員会が実施主体となり、堺市漁業協同組合連合会が協力する区民との協働事業である。	○	大阪湾クルージングでは、小型船舶で堺の近海を遊覧航行し、海上から堺の港や沿岸を見ることが新たな発見や関心に繋がる。	○	区民との協働、子育て支援、郷土愛の醸成等一度の開催で複数の効果を実施できる。
⑤自立発展性		総合評価					
－	本事業は、区民が地域資源の価値に誇りを持ち、自治意識の高揚につながるものではあるが、区民同士を有機的に結びつける働きが行政に求められているため、区民独自で行うことは難しい。	○	コロナ禍以降クルーズを中心に年に2回実施していたが、令和6年度はクルージング以外の催しも行い、年度中に1回行った。堺の海や港への親しみや関心が高まった参加者が多く見られた。参加対象を概ね小学生以下とその保護者とする事で、堺の海でこどもが家族とふれあう機会となった。 またクルージングやSDGsを学べる工作等こどもとその家族が、海や漁港の魅力に触れ、郷土愛の醸成と自然や環境を学ぶ機会を創り出した。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	本イベントを通じて、参加者が堺の海や漁港を知り、親しみや興味、関心を持つ機会となったが、今後は来場者を増やすために本事業の対象となるこどもとそのこどもと家族のニーズをはかり、イベント内容や周知の方法について見直す必要がある。 また、アンケートでは「健康・スポーツ」の分野に関するイベントに参加したいという回答が多かったため、この事業に取り込める余地があるか検討する必要がある。						